

新製品 新技術紹介

熱融着繊維製ファイバーロッド 浅井 耕治

アサヒ繊維工業株式会社 代表取締役社長
〒492-8424 愛知県稲沢市高重東町 51 番地
TEL : 0587-32-1176
FAX : 0587-23-0315
URL : <http://www.asahi-fiber.co.jp>



はじめに

弊社は1949年12月創業の繊維製特殊加工品の企画・開発・製造メーカーです。「熱融着繊維製ファイバーロッド」はファイバーの束を連続的に加熱しながら、ファイバーの各交点を融着させて成型する方法を用いたファイバーロッドです。

このファイバーロッドの特徴は短繊維のファイバーを繊維束にするスライバー加工からファイバーロッドの成型、商品化まで一貫して、自社で設計、製作した特殊な成型機で加工しますので各種形状のファイバーロッドの商品化に対応でき、又、小ロットから大ロットまで生産できることです。ここに、ファイバーロッドの商品群を紹介します。

開発の背景

当社は、地球環境を考え、ジャンルを問わず、暮らしに役立つ商品開発に努めており、常に新しい可能性に挑戦している現状において、短繊維を熱融着してファイバーロッドを成型する従来技術から発展・展開させ、自社製成型機を常に改善・改良しながら、100%メイドインジャパンとして品質を向上させ、そしてユーザーニーズに応じた各種形状のファイバーロッドを小径から大径までの量産化に至っております。

ファイバーロッドの特徴

①ファイバーロッドの空隙率（ファイバー原綿の充填率）を任意に変えて成型できるため、消臭剤や芳香剤の揮散量を調整することが可能。

- ②自社製の設計・成型機により、ファイバーロッドの断面を各種形状に成型できるため、ユーザーニーズに柔軟に対応ができる。
- ③繊維束を加熱成型してあるため、機械的強度が高い。
- ④接着剤を使用せずに成型してあるため、芳香剤液などの影響を受けにくく、又、ファイバーロッドからの繊維の脱落がほとんど無い。
- ⑤ファイバーロッドの仕様は、吸い上げ速度、耐熱性、耐薬品性、強度などの必要性に応じて、SL,EL及びSBタイプの3種類を選択することより、ユーザーニーズに合わせたファイバーロッドを作ることができる。

ファイバーロッドの用途

- ①筆記道具用中綿（インキ吸蔵体）：油性マーカー、水性マーカー
- ②液体芳香剤の吸い上げ芯：部屋用、トイレ用、車内用

- ③植物工場：水耕栽培用培地
- ④OA 機器用インキ吸蔵体
- ⑤各種液体の吸収体
- ⑥医療用部材：止血パッド、血液検査用、尿検査用

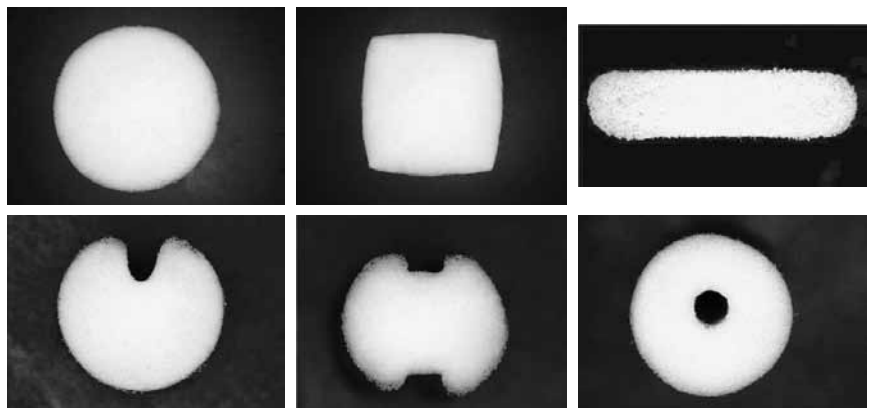
最後に

熱融着繊維製ファイバーロッドの成型技術は、平成24年度（公財）名古屋産業振興公社：名古屋市工業技術グランプリにおいて「理事長賞」をいただきました。

今回の受賞を励みに更なる自社開発装置の改善・改良を行い、100%メイドインジャパンのファイバーロッドの性能向上と品質向上に鋭意努力する所存であります。



ファイバーロッドの商品群



各種形状（断面図）のファイバーロッド